

WHY JAPANESE PEOPLE!!

どうして宿舎で交流しないの！



班長 久保田彩加

副班長 川西勇輔

資料DB/統計 中島衣織

印刷 佐藤優希

渉外 野口紗英子

書記 茂木雅春

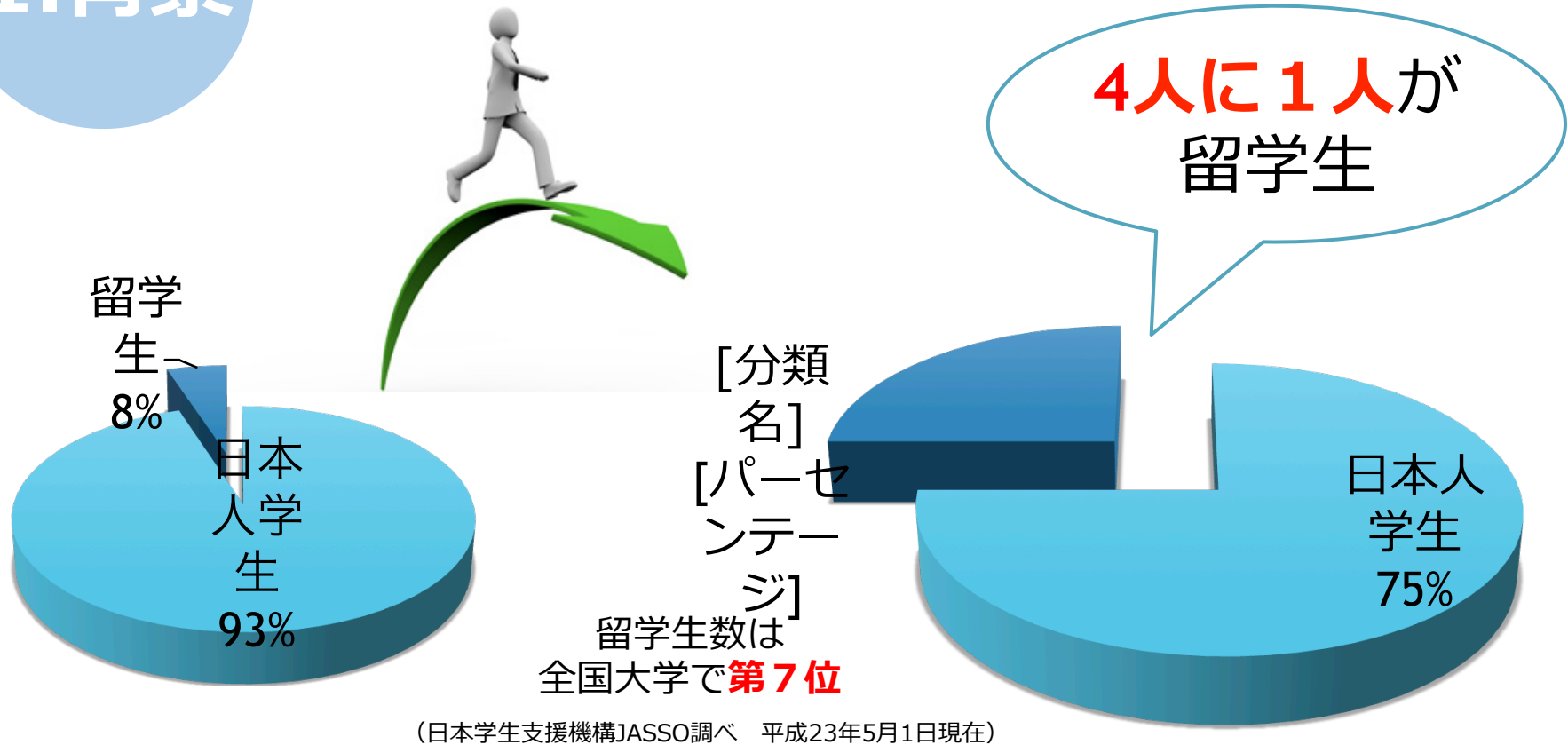
総務 掛神有希奈

担当教員 鈴木勉

TA 安達修平

1.背景

筑波大学の留学生数の増加



留学生の宿舎に対するニーズの増加

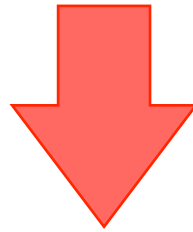
1.背景



- ・日本人同士のコミュニケーション
- ・留学生との共同生活

2.目的

- ① コミュニケーションの取りやすい
学生宿舎の将来像提案し、
- ② どのような効果が期待されるのか
を明らかにする



調査

学生宿舎の共用スペースの使われ方
宿舎制度・空間構成と
コミュニケーションの取られ方の関係
があるか



3.調査
文献調査

筑波大学 グローバルレジデンス整備事業

「国際性の日常化」に向けた宿舎整備

インター
ナショナル
ハウス

留学生と日本人が
5人1組でシェアハウス
500人入居

コミュニティ
プラザ

交流施設

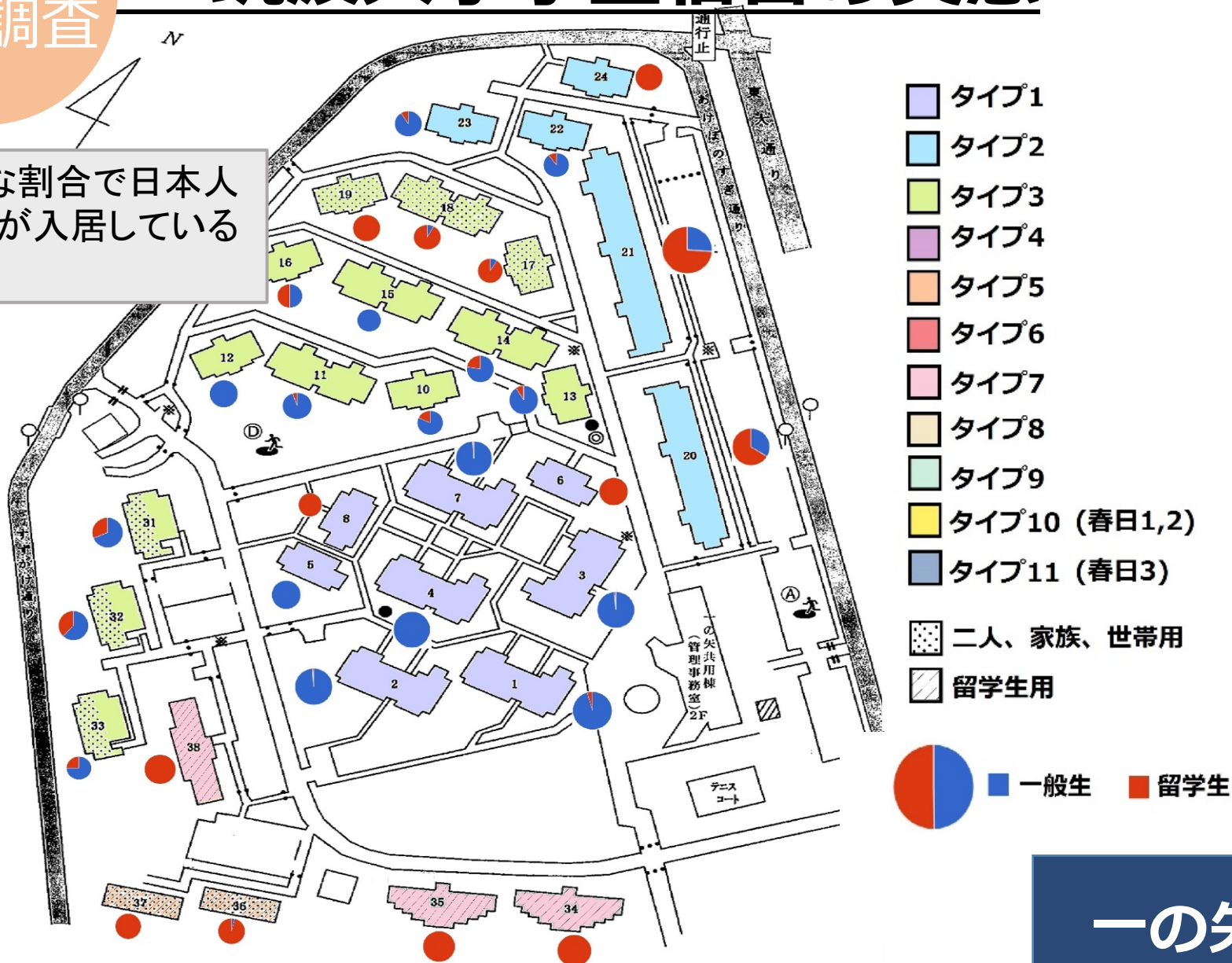
ショートステイ
ハウス

短期留学生
478人入居

3.調査 文献調査

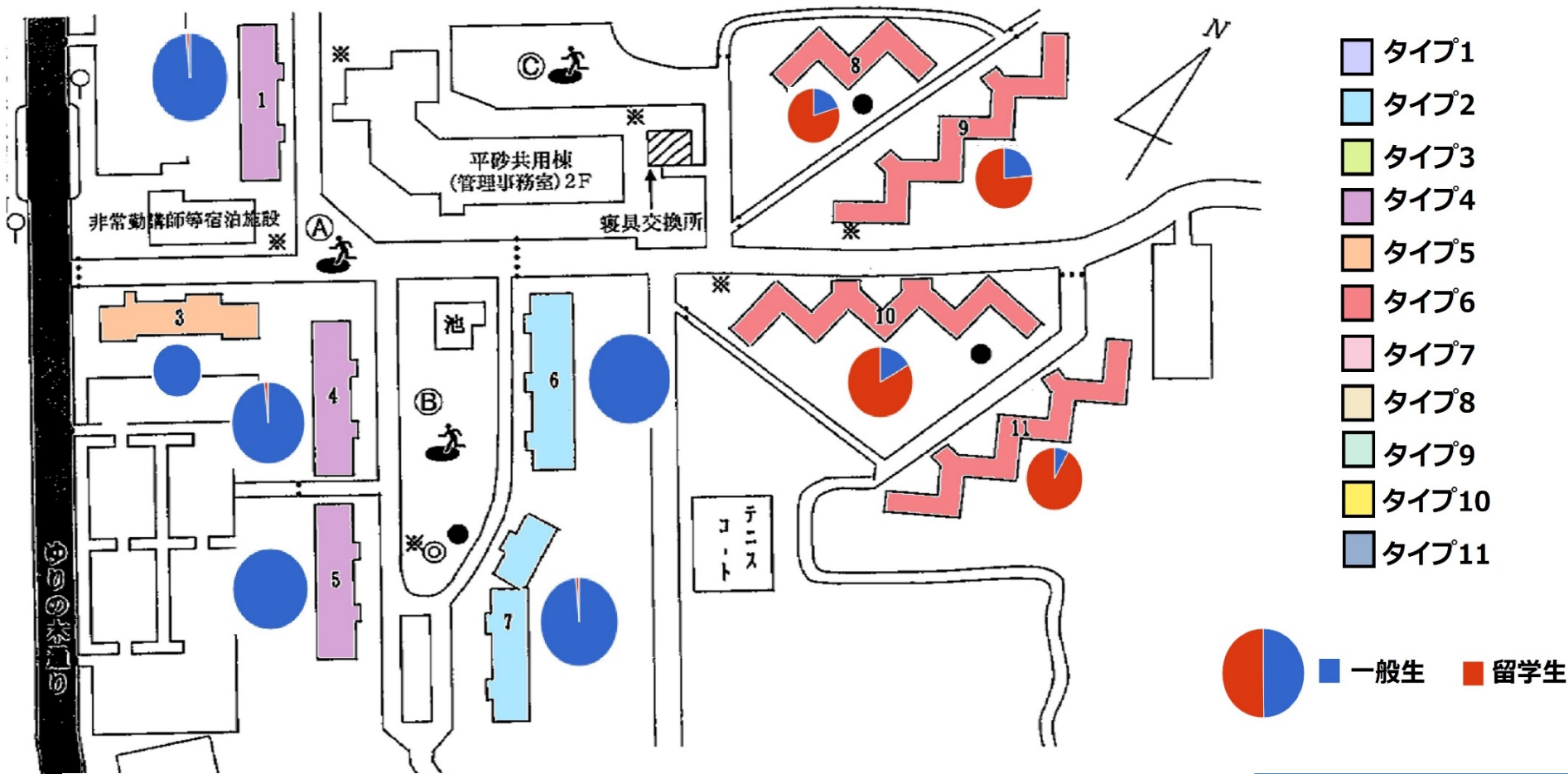
筑波大学学生宿舎の実態

どのような割合で日本人
と留学生が入居している
のか



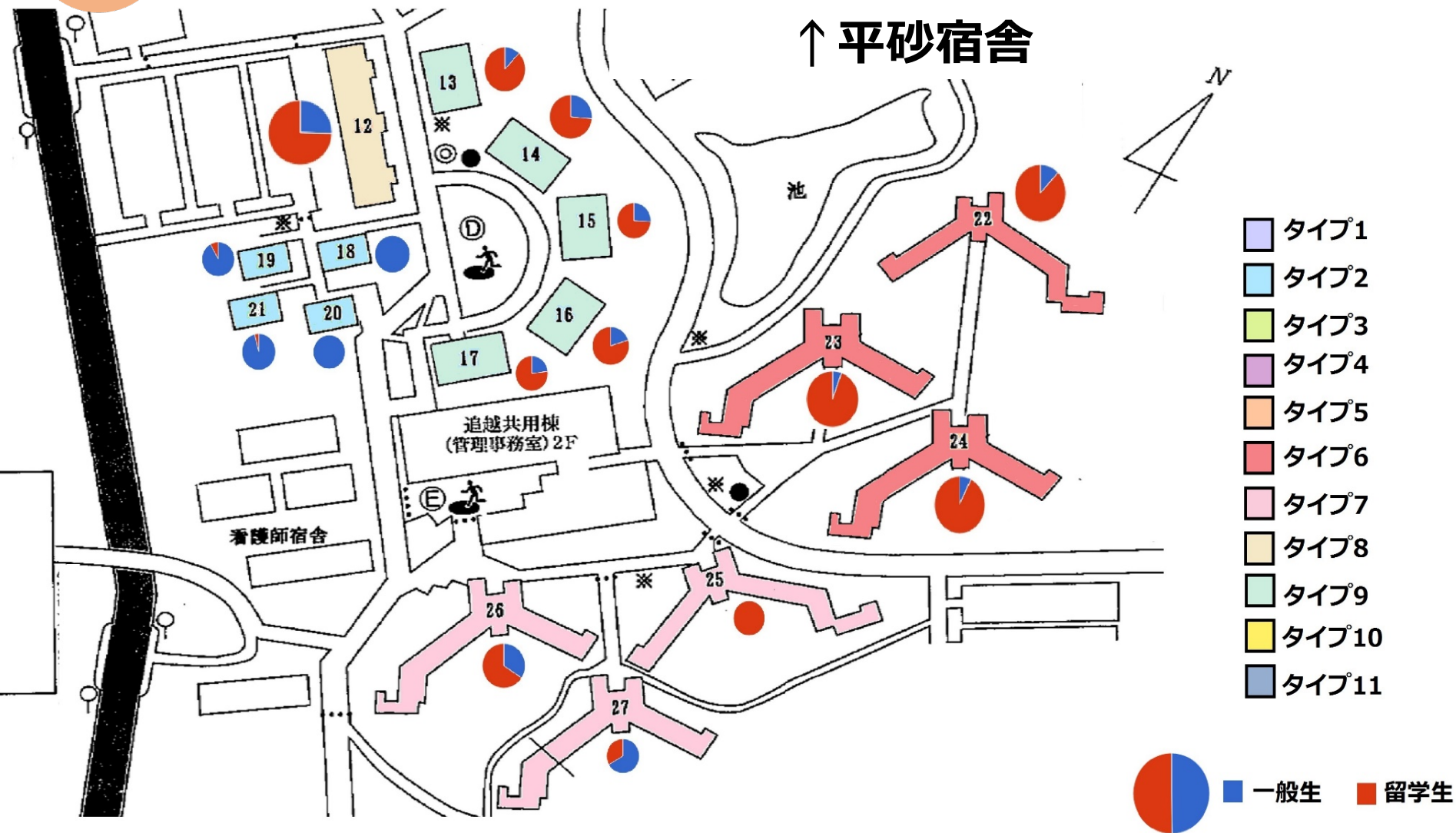
筑波大学学生宿舎の実態

↑ 5C棟・附属図書館



つくばセンター・追越宿舎 ↓

筑波大学学生宿舎の実態

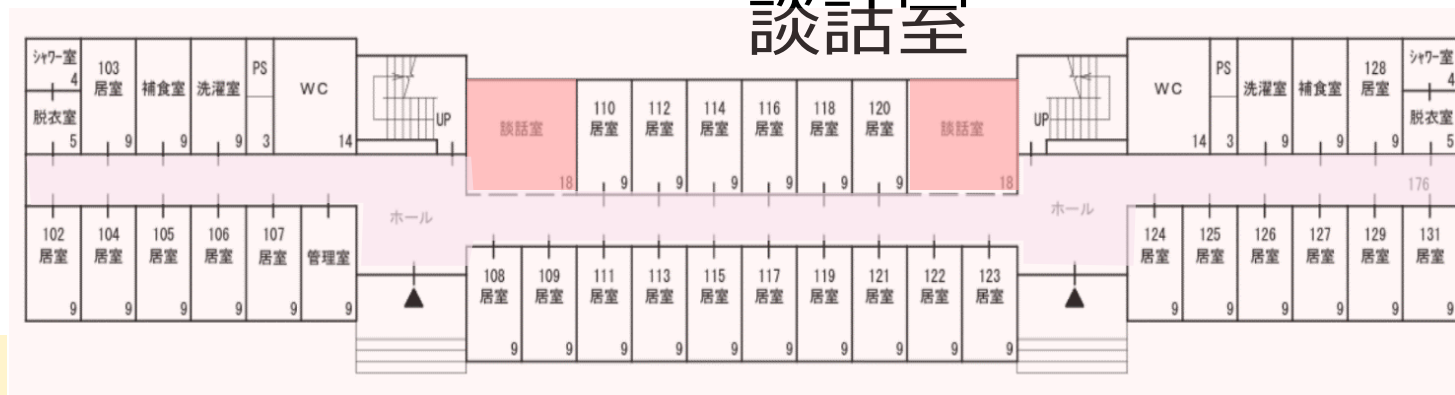


3.調査 文献調査

筑波大学学生宿舎のタイプ分け

宿舎 タイプ	居室対象	共用スペースの 有無	共用スペース タイプ	フロア の部屋 数	タイプ総居室 数	現在入居者 数	日本人：留学 生(人)	アンケート 回答数
1	単身	○	リビングキッ チン	8,10	481	390	390:0	60
2	単身	○	リビング	5,6	729	609	444:165	57
3	単身、二人、 世帯	×		2-4	432	285	145:140	9
4	単身	○	談話室	29	357	349	346 : 3	48
5	単身	○	談話室	23,24	67	66	66:0	6
6	単身	○	リビング	21-30	860	670	71:599	3
7	単身	○	捕食室	8~19	352	261	27:234	9
8	単身	○	リビング	33	135	102	26:76	3
9	単身、 身障者	○	リビング	9-12	222	140	30:110	6
10	単身	○	湯沸洗濯室	7-18	154	151	151	1
11	単身、夫婦、 家族	×		4-6	20	16	2:14	0

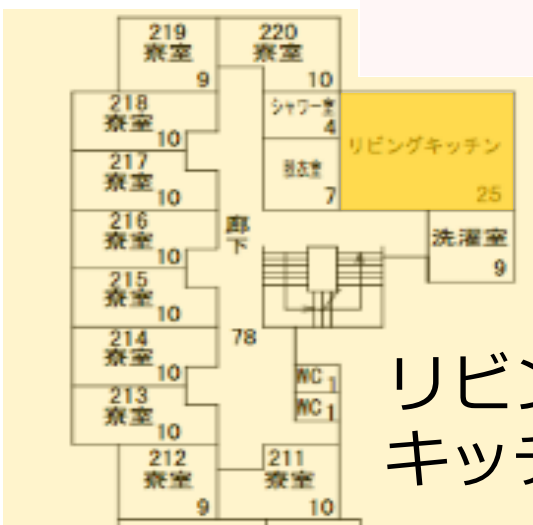
筑波大学学生宿舎のタイプ分け



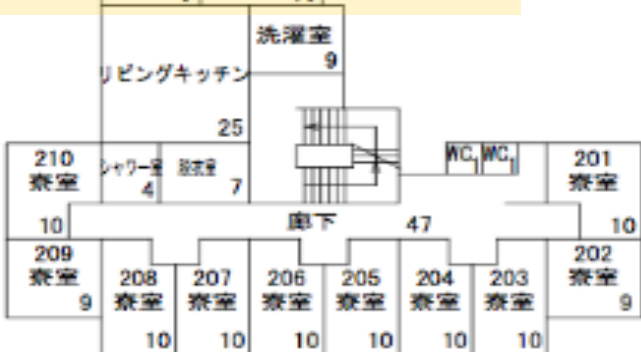
談話室

長い廊下

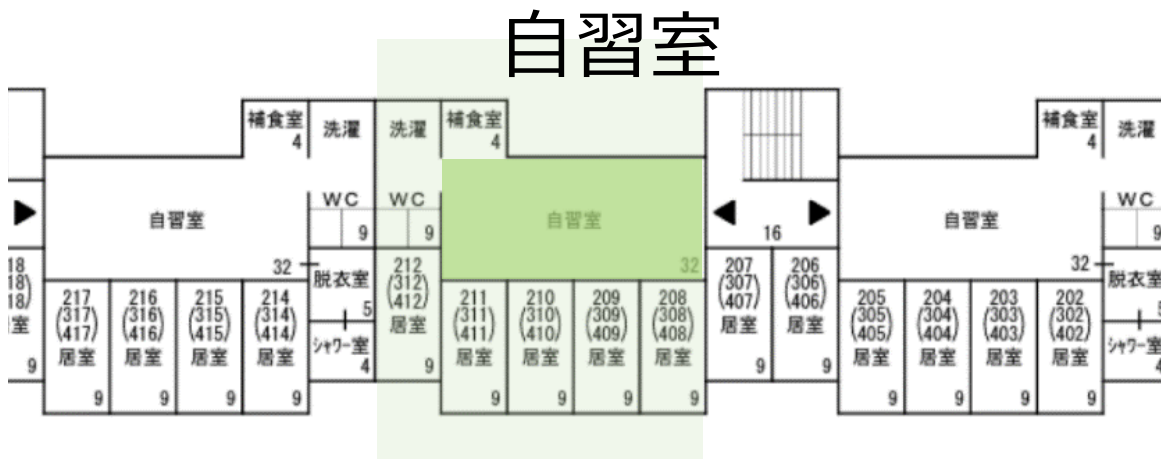
▲廊下長い型



リビング
キッチン



▲リビングキッチン型



自習室

▲ユニット型

3つの大学の宿舎を比較

筑波大学 学生宿舎

タイプごとの特徴を調査

東京外国語大学

国際交流会館1,2,3号棟

共用スペースや日本人・留学生
混住宿舎の実態把握

国際基督教大学

グローバルハウス

シェアハウス型の日本人
・留学生混住寮の実態把握

3.調査
現地調査
ヒアリング



筑波大学
学生宿舎

**東京外国語
大学**
国際交流会館

**国際基督教
大学**
グローバルハウス

	筑波大学 学生宿舎	東京外国語 大学 国際交流会館	国際基督教 大学 グローバルハウス
居住者数 (日本人:留学生)	3039名 (1698:1341)	427名 (99:328)	64名 (32:32)
部屋のタイプ	個室、家族室	個室、家族室	ルームシェア
部屋の中にあるもの(単身用)	ベッド 洗面台 机	ベッド・机 ミニキッチン 収納	キッチン トイレ 洗濯機
家賃(単身用)	\13,530	1,2号館 \21,000~\22,000 3号館 \46,000	約\47,400 (初年度569,000)

3.調査
現地調査
ヒアリング

筑波大学学生宿舎

見学 場所	一の矢学生宿舎 2,23,38号棟 平砂学生宿舎 3,4,7号棟
日時	5月19日 (火)15:00～

リビングキッチン型



リビングキッチンに共用のテーブル・椅子



ユニット型



居室の前に共用スペース



廊下長い型



1つのフロアに2つの共用スペース

3.調査
現地調査
ヒアリング

東京外国語大学 国際交流会館1,2,3号館



見学場所	東京外国語大学 国際交流会館1,2,3号館 (東京都府中市)
日時	5月29日(金)11:00-

入居者内訳

	日本人	外国人	他
1号館	0	124	5
2号館	0	76	6
3号館	117	99	0

国際交流会館1,2号館

留学生・外国人研究者向け



DIFFERENCE ! ① トレーニングルーム、音楽室、和室、
調理場、談話室など豊富な共用スペース
② 調理場の充実



国際交流会館1,2号館

留学生・外国人研究者向け



DIFFERENCE !



居室にトイレ・ミニキッチン
・ユニットバスなど備え付け設備

国際交流会館3号館

留学生・日本人が混住

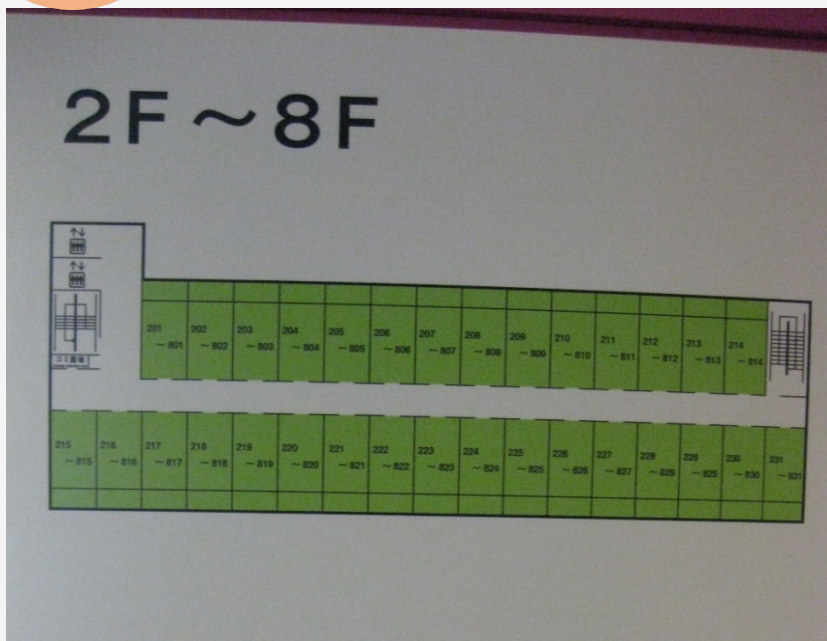


DIFFERENCE !



- ① 民間企業に委託建設(PPP・BTO方式)
- ② 1ヶ所しかない共用スペース

3.調査
現地調査
ヒアリング



DIFFERENCE !



居室にトイレ・ミニキッチン・ユニット
バスなど備え付け設備

“廊下長い型”と同じ
中廊下型の居室配置

SAME !



3.調査 現地調査 ヒアリング

国際基督教大学 グローバルハウス

ICU 国際基督教大学
INTERNATIONAL CHRISTIAN UNIVERSITY
60th Year
CAMPUS MAP



見学場所

国際基督教大学
グローバルハウス
(東京都三鷹市)

日時

5月29日(金)14:30-

入居者内訳

日本人	留学生	チューター
32人	32人	4人

グローバルハウス

4人で1つのユニットを組む



DIFFERENCE !



- ①くつろぎ・寮会の場合
- ②広い共有スペース
- ③たくさんの椅子・ソファ

グローバルハウス

4人で1つのユニットを組む



DIFFERENCE !



- ① 共有リビングのフローリング
- ② ユニット内の風呂、トイレ、キッチン
- ③ リビングを囲む4つの個人部屋

3.調査
アンケート
調査

宿舎利用に関するアンケート

目的

筑波大学の宿舎や他大学宿舎の見学をふまえ、現在の宿舎の利用実態を調査する。

質問内容

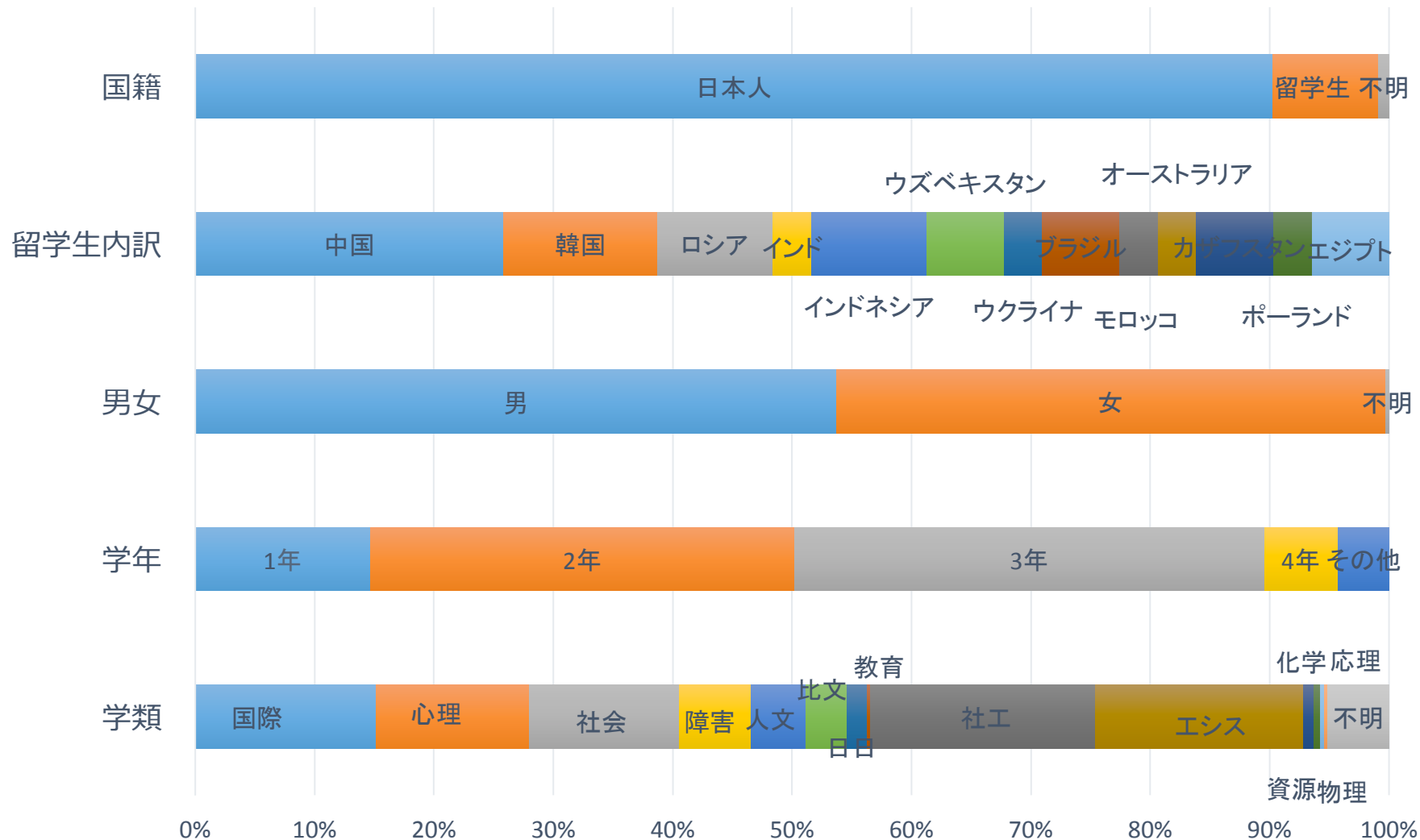
- ①宿舎の利用履歴
- ②宿舎の利用実態
- ③共用スペースの使われ方
- ④宿舎に関する意見



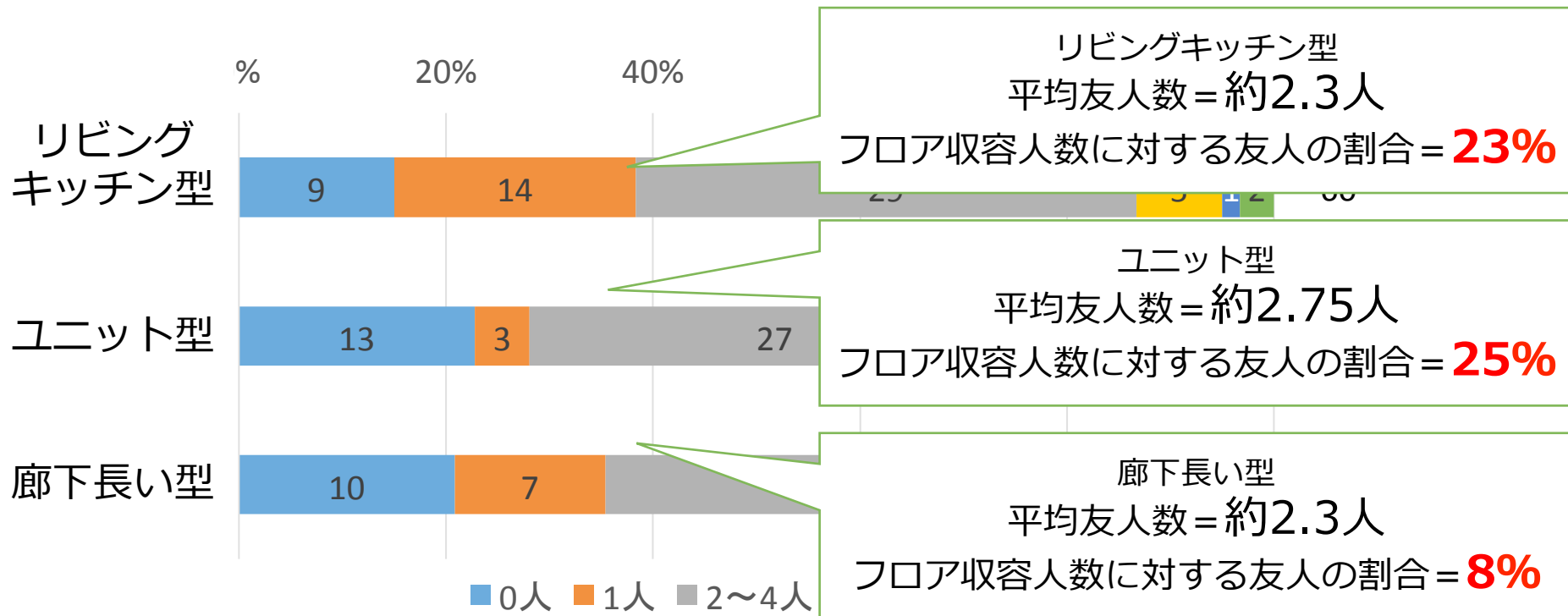
授業内でアンケート用紙を配布し、履修者**607**人中**350**人の回答を得た。

回答者**350**人中、**211**人が宿舎への入居経験あり

回答者の属性

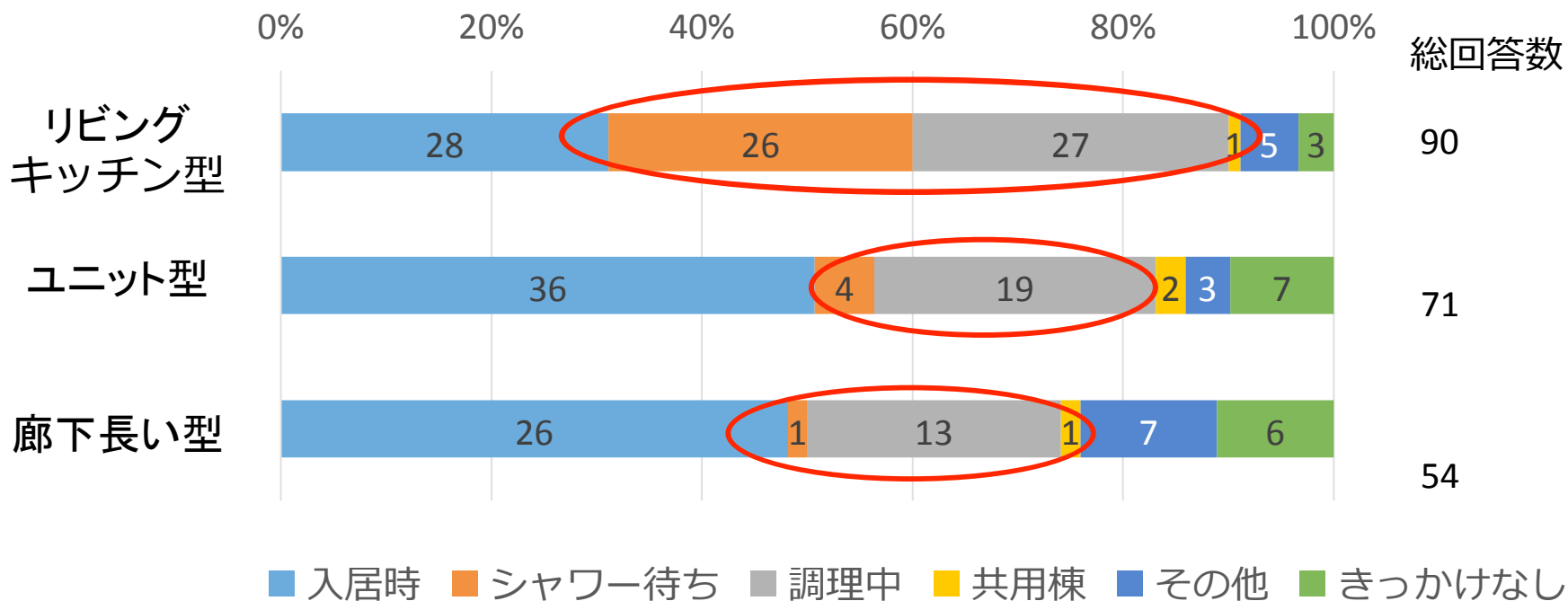


同じフロア内の気軽に話せる人の数



フロア内の人数が多い≠
より多くの人と友人になれる

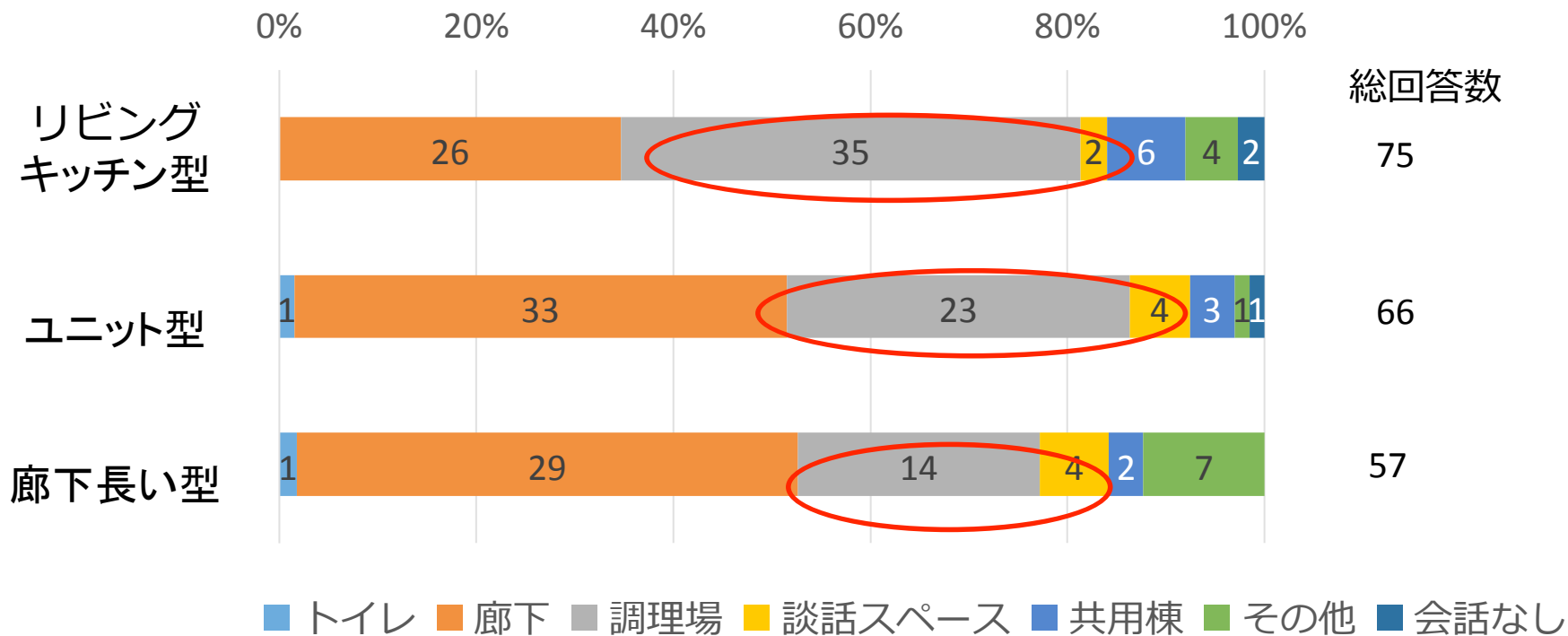
同じフロアの人と仲良くなるきっかけ



リビングキッチン型

他と比べ“シャワー待ち”・“調理中”の割合が高い
→リビングキッチン(シャワー隣接)の効果では？

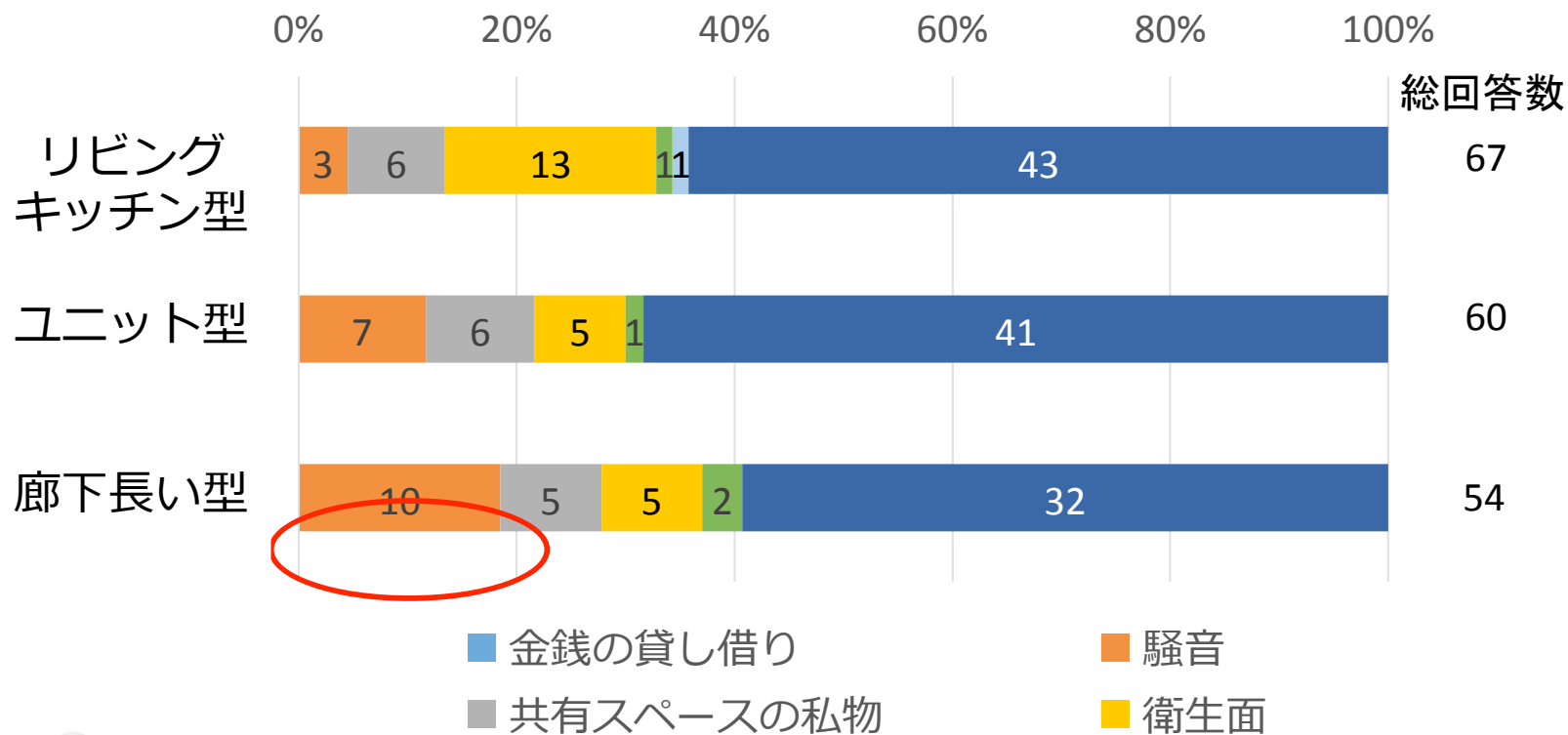
同フロアの人と会話する主な場所 (複数回答可)



リビングキッチン型

他と比べ「調理場」の割合が高い
➡ リビングキッチンでの会話がが多い

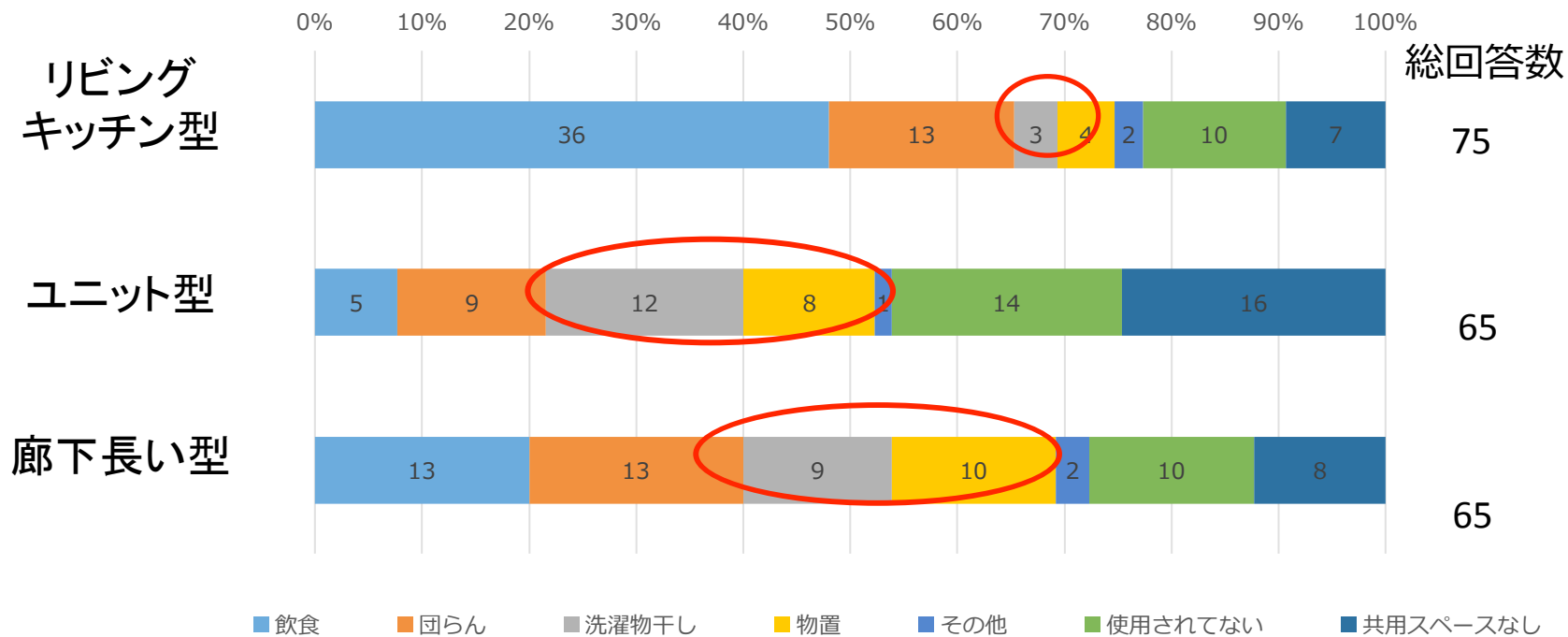
同フロアの人との間で起きたトラブル (複数回答可)



廊下長い型

他と比べ「騒音トラブル」の割合が高い
➡中廊下型で廊下が一続きであるのが原因では？

共用スペース使用方法(複数回答可)



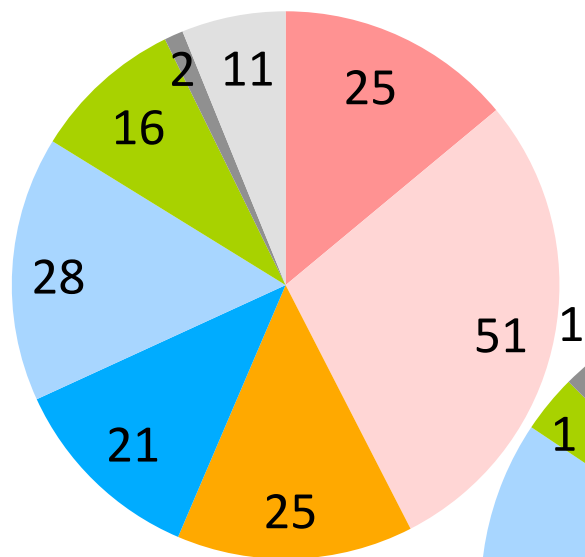
ユニット型、廊下長い型

リビングキッチン型よりも“洗濯物”“物置”の割合が高い
➡もっとよい共有スペースの使い方ができるのでは？

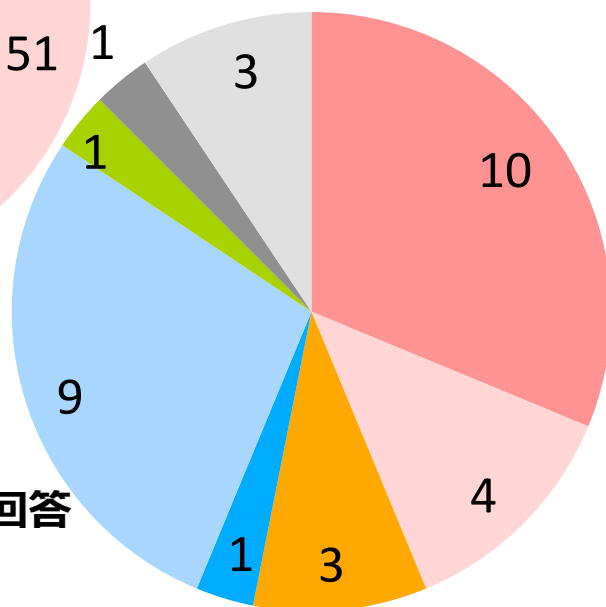
3.調査
アンケート
調査

宿舎生活で留学生または日本人と 友達になることに対する意識

日本人の回答



留学生の回答



- 留学生/日本人と友達になりたいと思っており、宿舎はそれを助長する場であってほしい
- 日本人/留学生と友達になりたいと思っており、宿舎はそれを助長する場であってほしい
- 日本人/留学生と友達になってもよいと思っており、宿舎はそれを助長する場であってほしい
- 日本人/留学生と友達になりたいと思っており、宿舎がそれを助長する場である必要はない
- 日本人/留学生と友達になってもよいと思っているが、宿舎がそれを助長する場である必要はない
- 日本人/留学生と友達になりたいとは思わない
- その他
- 不明



半数以上が宿舎での留学生または日本人との交流に肯定

4.提案 方針



空間の工夫

入居者全体が交流できるように



制度の工夫

日本人と留学生が共に暮らせるように



両面からの提案

4.提案 空間

リビングキッチン型 「もっとコミュニケーション」 プラン

After

Before



リビングキッチン

さらなる改善で、より活用される場へ



4.提案 空間

ユニット型 「ユニット化で仲良し」プラン

After

Before



共有スペース



物置
洗濯物干し



シャワー待ち
食事スペース

4.提案 空間

廊下長い型 「静かになって円満」プラン

After

Before



壁の設置

- ①騒音の減少
- ②フロア人数の減少

➡話しやすい空間



4.提案 制度

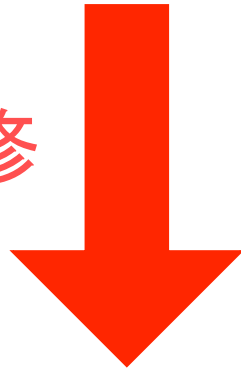
入居の仕組みを変える

現状

棟による日本人・留学生の割合に大きな差
未改修棟の留学生割合が高い

未改修棟を改修

3つのプランで！



将来像

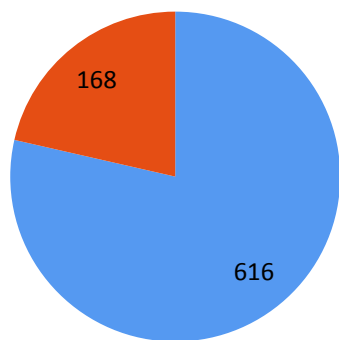
未改修棟の消失
旧未改修棟を留学生との混住へ

4.提案
まとめ

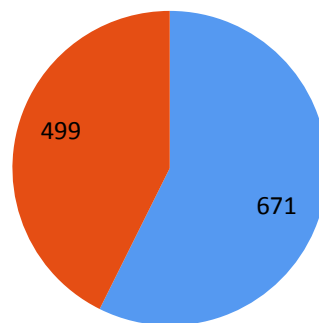
実施後はどうなる？

新しい宿舎振り分け

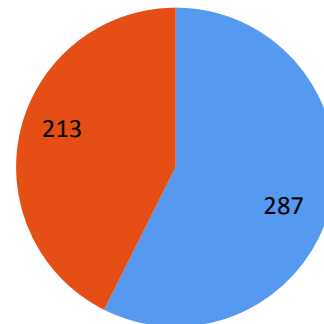
一般棟



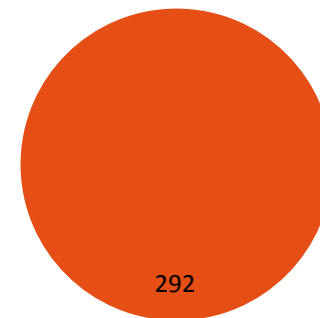
交流棟(旧タイプ1,2)



グローバルレジデンス
入居者



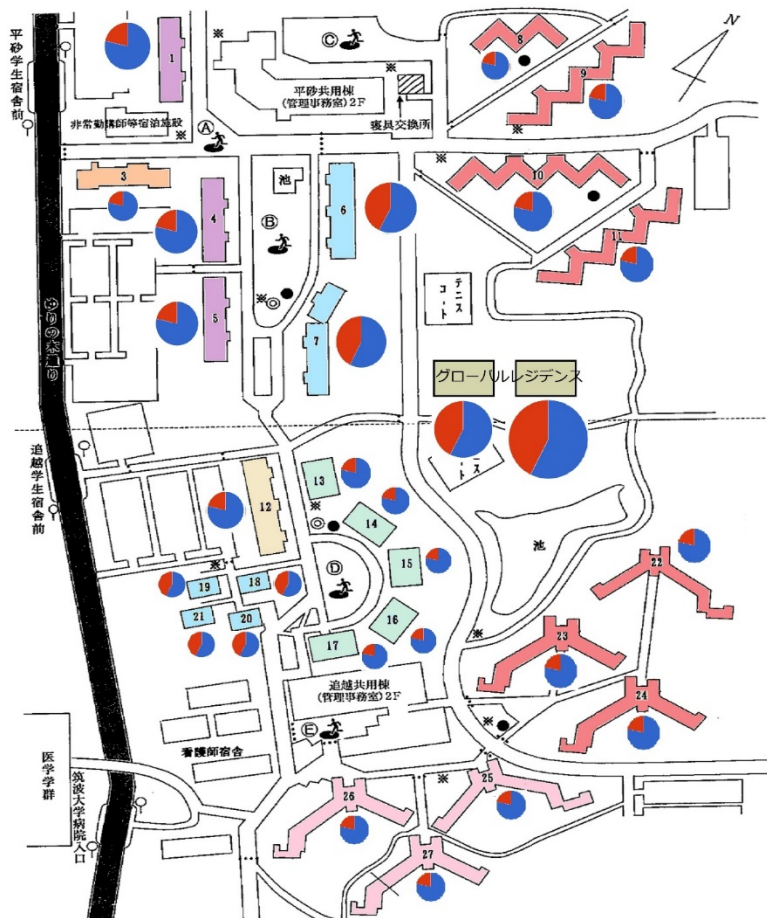
留学生棟



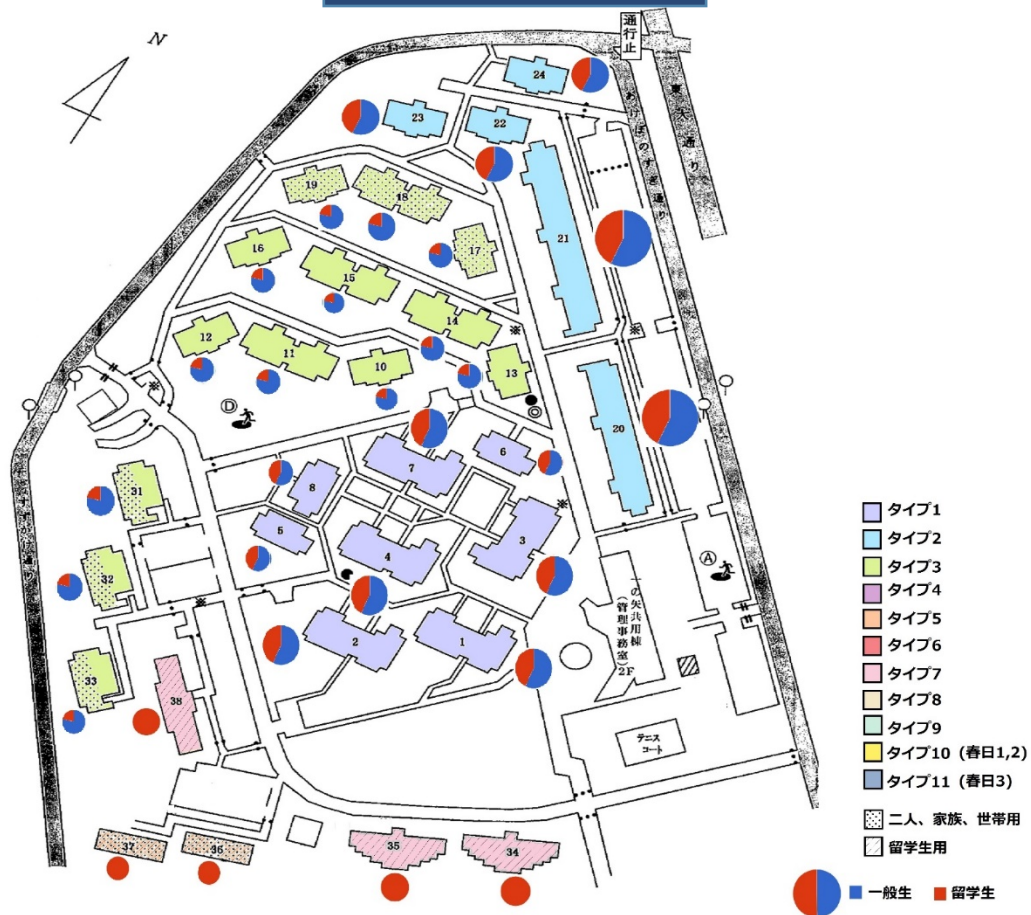
4.提案
まとめ

実施後はどうなる？

平砂・追越



一の矢



4.提案
まとめ

実施の流れ

1

空間

壁の設置
フローリン
グ化

2

空間

ソファ等
家具設置

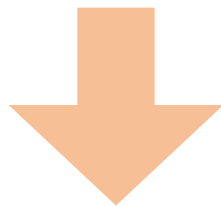
3

制度

留学生と
日本人
の混住化

5.結論

「空間」と「制度」の両面から改善



将来入居者同士がコミュニケーション
をとり、日本人と留学生が混住する
学生宿舎が実現可能になる。

6.謝辞

今回の実習でたくさんの方にお世話になりました。
心より、御礼を申し上げます。

小林 浩様(東京外国語大学 留学生課課長補佐)
松山 龍彦様(国際基督教大学 学生サービス部学生グループ主管)
千保 卓也様(国際基督教大学 総務・法人部 管財グループ)
富田 家宏様・千鶴様(国際基督教大学 学生寮管理人)
大手 昇一様(筑波大学 学生部学生生活課専門職員)
酒井様(筑波大学 留学生センター)
オム ソンヨン様・アン チェンガン様(筑波大学 都市空間解析研究室)
筑波大学 学生生活課一同様
アンケートにご協力いただいた皆さん
担当教員 鈴木勉先生
担当TA 安達修平さん

7.参考文献

- 1) 筑波大学 平成24年度学生生活実態調査(学群)
<http://www.tsukuba.ac.jp/public/pdf/h24undergrad.pdf>(2015/06最終閲覧)
- 2) 筑波大学学生宿舎管理事務所 宿舎案内 宿舎料について
<http://www.meikei.or.jp/shukusha/service.html>(2015/06最終閲覧)
- 3) 筑波大学グローバルレジデンス整備事業要求水準書平成27年1月8日
<http://www.tsukuba.ac.jp/public/office/20150108gr8suijyun.pdf>
- 4) リクルート2013 グローバル人材育成の場としての「国際寮」
souken.shingakunet.com/college_m/2013_RCM183_06.pdf(2015/06最終閲覧)
- 5) ウェブマガジン「留学交流」2012年9月号Vol.18 留学生寮から真の国際学生宿舎へ:学生寮混在化のケーススタディ
<https://infoshako.sk.tsukuba.ac.jp/risumail/src/webmail.php>(2015/06最終閲覧)
- 6) 東京外国語大学 国際交流 本学で学ぶ方へ 国際交流会館
http://www.tufs.ac.jp/intlaffairs/international_student/hall.html(2015/06最終閲覧)
- 7) 国際基督教大学 学生グループ グローバルハウス
<http://web.icu.ac.jp/sag/dorm-apartment/undergraduate/globalhouse/>(2015/06最終閲覧)